

LOCKER ROOM

Vol. 034



birthday 1986/7/26
blood type O
height 170cm
birthplace NAGANO

ふじさわ・きよし/リオパラリンピック日本代表。車椅子バスケットでは障害の重い人から順に1.0~4.5の持ち点があり、藤澤選手は2.0。ポジションはSG（シューティングガード）。黄金のショットと呼ばれる精度の高いミドルシュートが持ち味。

name
藤澤 潔
sports
車椅子バスケットボール
team
埼玉ライオンズ



使える部分をフルに使う。それが今の課題です。

「リオパラリンピックでの9位という結果は誰も納得できていないし、本当に悔しい。本番前にはリオが最後になっても構わないという気持ちでしたが、このままでは終われない。東京への思いが強くなりました」
そう胸の内を語る藤澤選手。5歳のときのケガで車椅子生活となり、車椅子バスケットボールに出合ったのは小6のとき。その後、他に熱中するものもなく何となく続けていた時期もあったが、高校時代、世界選

手権をナマで観戦し、心を掴まれた。「世界のレベルに驚いたし、お客さんの数もすごく。観客の雰囲気も普段は応援というより、身内が来て選手を見守るといった印象でしたが、国を背負った試合はまさに戦いで、応援の熱も違う。自分ももっと練習して強くなりたいと思いましたね」
藤澤選手の武器は正確なミドルシュート。成功率をさらに上げるため、重点的に行っているのは、体を効率よく使うためのトレーニング。「リオ前後は車椅子の背もたれに体を預け、反動を使って打っていたんですが、それでは腹筋や背筋を使い

切れていないとトレーナーに言われて。足は動かないけど、上半身の感覚がある部分は眠っているだけで動かせないわけじゃない。使える部分をフルに使うことが今の課題です」
現在は週3日、一般企業の総務部で働きながら、チームや個人的な練習、試合、遠征をこなし、完全なオフは少ない。多忙な中での癒しは、2歳になる息子さんとのひととき。「帰宅して玄関を開けると、子供が走ってきて、『おかえり。待ってたよ』って。そのひと言は癒しですね」
優しいパパの顔で、願望をボツリ。「息子が『きかんしゃトーマス』にハマっているので、静岡の大井川本線を走るトーマス号に乗せてあげられたらいいなって。計画中です」



Scoop 気になるつぶやきPick Up!

- 1 眠っている体を起こす。**
背筋や腹筋を鍛えるために、上体反らしてトレーニング。「下半身が麻痺しているの、首を少し上げるのも難しいんです」
- 2 ルーティンで平常心を。**
「普段通りを心がけるために、パラリンピック予選時から車椅子のベルトは右から左につけると決めて、実践しています」
- 3 トークで息抜き!**
試合前は、チームメイトと話してリフレッシュ。「特別おしゃべり好きではないですが、誰かと話して繋がっていたいんです」
- 4 趣味はプランニング。**
「旅行の計画を立てるのが好きで、ムダに旅行雑誌を買ったり、パンフレットを集めたり。なかなか実現できていませんが(笑)」

My Favorite

地元愛が詰まった愛用品

万歳三唱や温泉に入るサルなど、長野県の風習や名物が描かれたステンレスボトル。「出身地の長野をアビールしたいなと思って使っています(笑)」

